

キャラクター名

プレイヤー名

黒衣の男

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	5
サポートクラス	ニンジャ	Lv.1:	ニンジャ	性別	男性
称号クラス				年齢	
種族	ヒューリン			境遇	義理の親
出自 (効果)	放浪者			目標	復讐

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運		
基本値	9	9	15	8	18	8	9	HP	60
ボーナス	3	3	5	2	6	2	3	MP	52
クラス修正	0	2	2	1	1	0	0	フェイト	5
他修正									
能力値	3	5	7	3	7	2	3		

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	怨念の剣	至近	0	12	0	0	0	-2	0
左手									
頭部									
胴部	黒装束					6			
補助	俊足のブーツ				1	3		1	
装身具									
能力値			5	0	7	0	2	14	8
スキル									
その他									
総計(右)			5	12	8	9	2	13	8
総計(左)			5	0					
総計(両)									
ダイス数			2 d	2 d	2 d				m

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数	所持品			
トラップ探知	7			7	+ 2 d				
トラップ解除	5			5	+ 2 d				
危険感知	7			7	+ 2 d				
エネミー識別	3			3	+ 2 d				
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d				
魔術判定					+ d				
呪歌判定					+ d				
錬金術判定					+ d				
現在重量： 0									
最大重量： 9						所持金： -7100	預金・借金：		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果： キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1								
ワイドアタック	2	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果： 武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SL×2]								
ハイドアタック	1	5	メジャー		自身	自動成功		
効果： 直後の通常攻撃後に潜伏する								
スペシャライズ：長剣	3	-	パッシヴ		自身	-		
効果： 命中とダメージに+SL								
ドッジムーブ	2	2	効果参照	-	自身	自動成功	非盾装備	
効果： 回避判定+SL+2								
コンバットマスタリー	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果： 命中判定+2								
コンシールアタック	2	-	メジャー	-	自身	-	隠密	
効果： 命中+1D・ダメージに+SL×2D								
インサイト	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果： 会話の虚偽見破る判定+1D								
サーチリスク	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果： 危険感知判定+1D								
バイタリティ	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果： 最大HP+CL								
	1							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

エネミー専用情報

ハイドアタック：基本的にこれを使用し隠密を維持する

ドッジムーブ：20を超える or 残HPを超えるダメージ期待値アクションに対してのみ使用

コンシールアタック：HPポーション使用後から活性化。それ以前は所持していないものとして扱う

ワイドアタック：出自に「王侯貴族」「騎士」、または経歴に「貴族」関係が含まれるプレイヤーキャラがいる場合のみ、そのキャラに対して優先的に使用。他のどの行動よりも優先される行動であり、この行動を行う場合はマイナーアクションを行わない(被威圧時を除く)

HPポーション：HPが20を下回ると1度のみ使用

MPポーション：MPが10を下回ると1度のみ使用

激昂：アイテム「???」の使用、または対話で「???」を話題にすることにより発動。回避および隠密対決の判定に-1D。

使用した対象を最優先で狙うようになり、その対象に対してのダメージ+1

妄執激昂：激昂した対象が2ターン以上生存していると発動。

激昂の効果に加え、ハイドアタックを使用しなくなる。また、その対象に対してワイドアタックを使用するようになりダメージ+2

キャラ設定

物心ついた頃から孤児であり、盗みでその日暮しをしていたがある日、大手ギルドの長ゴリアテに拾われる。

ゴリアテのもとに来てからは彼も真っ直ぐに暮らしていたが、そのゴリアテがある日公開処刑されることとなる。理由は貴族のよる言いがりのようなもの…

彼のような弱者を拾っては自分のところで養っているゴリアテが気に食わない。そんな横暴な理由で処刑されたのだ。

自分にとって唯一の肉親のような存在であったゴリアテを、そんな理由で殺されて彼が黙っていれるはずもなく…

「貴族への復讐」そんな抽象的な妄執に囚われた彼には幸か不幸か暗殺の才能があったのだ。

復讐を決意し同じく決起した仲間とともに成した"功績"はいつしか彼を「貴族殺しの死神」として有名にさせたのであった